



各地の議会でケアラー支援・ヤングケアラーについての質問が相次いでいます。

=国会でもはじめてヤングケアラーについて質問=

●国会で薬師寺議員が

「ヤングケアラー」について質問

- 「きめ細かい支援の必要性と厚労省と文科省の連携」と厚労大臣・文科省副大臣が答弁

2018年5月31日、参議院厚生労働委員会にて、薬師寺みちよ参議院議員（愛知県選挙区選出）が「ヤングケアラー」について質問しました。

薬師寺議員は日本ケアラー連盟が実施した調査の報告書を配布し、「ヤングケアラーの実態把握や相談窓口設置の必要性」について質問し、厚生労働大臣や文部科学副大臣が「きめ細かい支援が必要であり、厚労省と文科省が連携してとりくむ」などの答弁がありました。

国会で「ヤングケアラー」がとりあげられたのははじめてのことで、今後の施策の方向についての答弁があったことは、大きな一歩です。

薬師寺議員は、6月13日の国会議員学習会（P3参照）に参加され、「産業医として勤務された中で介護の問題を認識したこと」や「ケアラー問題は高齢者介護だけではない部分こそが重要であると考えている」と述べられました。

※下記のリンク先から、「2018年5月31日」「厚生労働委員会」を選択すると薬師寺議員の質疑を見ることができます。

5時間39分48秒あたりから約20分間です。

<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php> ぜひご覧ください。

●藤沢市議会で竹村議員が「精神疾患の親を持つ子どもたち」への支援について質問

- 「ケアラー連盟に協力し、家族全体を支える支援にとりくむ」と副市長答弁

2018年6月19日、藤沢市議会で、竹村雅夫市議（無所属）が、「精神疾患の親を持つ子どもたち」への支援を中心としてケアラー支援について質問しました。

「藤沢市ケアを担う子ども（ヤングケアラー）についての調査」（日本ケアラー連盟）や、さいたま市のNPO法人『ぶるすあるは』の活動、ケアラー連盟の森田久美子理事の研究などを引用しつつ、支援にあたって、学校側が「知識」を身につける必要性について指摘し、行政のとりくみの現状と今後のケアラー支援について質問しました。

保健所長、副市長が答弁し、副市長からは、「藤沢型地域包括ケアシステムの推進において、『社会的孤立の防止』に関する専門部会の中で、ケアラー支援をテーマに分科会を立ち上げ、対象の枠組みを超えた支援のあり方などを検討する」「日本ケアラー連盟などの調査、研究に協力することで、ケアラーが抱える課題への対応と、あわせて家族全体を支える丸ごとの支援につながるよう取組む」などの前向きで具体的な答弁がありました。

下記のリンク（24分37秒から）で、竹村市議のケアラーに関わる質問が見られます。

http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/g07_video_view.as...



●神奈川県議会で岸部都議員がヤングケアラー支援について質問

○「県としてヤングケアラー支援にしっかりと取り組む」と知事答弁

2018年6月25日、神奈川県議会 岸部都県議（立憲民主党）が、ヤングケアラーの「たいへんさに気がつかない、相談先がわからない、支援につながらない」などの特性をあげ、「自治体が連携し、潜在化している子どもたちの声をキャッチする必要性」を訴えけるとともに、県の取り組み状況について質問しました。

答弁に立った黒岩祐治県知事は、「現代社会のひずみが子どもたちに集中している現状に触れ、ヤングケアラーはまさにこの状況のあらわれである」と述べました。そのうえで、「学校だけでなく地域の医療・福祉関係者がヤングケアラーの存在に気がつき、福祉事務所や地域包括支援センターが子どもが過度なケアを担っていないか配慮し、家族を含めた総合的な支援が行わるよう、情報共有をはかりながら、県としてヤングケアラー支援にしっかりと取り組む」と述べました。

●中野区議会で細野かよこ議員が「ケアラー支援」について質問

○「家族を含めた生活を総合的に支える視点が重要」と区長が答弁

2018年2月22日、中野区議会で、細野かよこ区議会議員（生活者ネットワーク）が、「日本ケアラー連盟主催の勉強会で知った世田谷区と藤沢市のヤングケアラー調査をあげて、区のヤングケアラー支援の姿勢」について質問しました。

区長からは、すでに区で実施されている「介護者にとってのレスパイトともなる緊急一時保護」「認知症カフェなど憩いの場に対する支援」さらには「難病や高次脳機能障害などの家族会における学習や交流、励まし合いへの支援」などが紹介されました。そして、「介護者が自分の人生を生きるための支援が必要であり、介護する家族を含めた生活を総合的に支える視点をもつことが重要である」と答弁しました。また、「情報発信の工夫をさらにはかり、実態把握については、ケアマネジャーからの聞きとりなどの工夫をしていく」「ヤングケアラー支援については、相談・支援や、関係機関連携などのあり方についての検討を行う」と答弁しました。

●各自治体で、ケアラー支援についての議会質問が相次いでいます。以下の一覧表は、2017年、2018年に議会質問に際して直接連絡いただいた際などにケアラー連盟で記録していたものです。ケアラー連盟では、自治体での議会質問や答弁、その成果などについて、今後もデータをまとめていく予定です。ぜひ情報をお寄せください。

2017年6月	多摩市議会	岩崎みな子	生活者ネット	ヤングケアラーについて
2017年6月	南魚沼市議会	寺口友彦	市民クラブ	ヤングケアラー対策支援について
2017年9月	小諸市議会	小林重太郎	無所属	ヤングケアラーについて
2018年2月	京都府議会	光永敦彦	共産党	ヤングケアラー支援策について
2018年3月	野田市議会	小室美枝子	市民ネットワーク	ヤングケアラーについて
2018年6月	仙台市議会	樋口のりこ	社民党	ヤングケアラーについて
2018年6月	文京区議会	前田くにひろ	無所属	ケアラー支援について
2018年6月	八王子市議会	陣内恭子	無所属	ヤングケアラーについて
2018年6月	小山市議会	市民派21議員4人	市民派21	ケアラー支援について
2018年6月	藤沢市議会	竹村雅夫	民主クラブ	ヤングケアラーについて
2018年6月	神奈川県議会	岸部都	立憲民主党・民権クラブ	ヤングケアラーについて
2018年8月	福生市議会	三原智子	生活者ネット	ケアラー支援の推進について
2018年9月	下野市議会	村尾光子	市民派クラブ	ケアラー支援の充実について
2018年9月	茅ヶ崎市議会	小磯妙子	市民自治の会	ヤングケアラー
2018年9月	さいたま市議会	稲川智美	自民党真政	ケアラー支援について



国会議員学習会を開催しました

2018年6月13日、衆議院第一議員会館で、国会議員学習会「世界で進むケアラー支援」を開催しました。

横浜ヤングケアラーヘルプネット代表の高橋瑞紀さんにヤングケアラーの介護の現実や課題についてお話いただき、ケアラー連盟の山口麻衣理事に、アメリカの支援法やアジア各国の支援施策など世界で進むケアラー支援策の現状について報告いただきました。

国会議員、代理出席の秘書、その他多くの方々に参加いただき、日本の現状を踏まえた質疑応答・意見交換が行われました。

《参加議員》

○衆議院議員

浅野哲議員(国民民主党)／荒井聰議員(立憲民主党)／大河原まさこ議員(立憲民主党)／松田イサオ議員(立憲民主党)

○参議院議員

薬師寺みちよ議員(無所属クラブ)／山口和之議員(無所属)



こんにちは
会員です

大河巳渡子さん

調布市議会議員

●地域福祉計画に「ケアラー支援」が書きこまれる

私は、自らも仕事と介護の両立に悩むケアラーを体験し、議会では認知症カフェも提案してきた。昨2017年からケアラー支援条例のプロジェクトにかかわっている。自身のとりくみとしては福祉3計画(地域福祉計画、高齢者総合計画、障害者総合計画)の同時改定の時期だった昨2017年12月議会でケアラー支援について質問し、その結果、ケアラー支援が地域福祉計画に書きこまれ、福祉3計画で連携してとりくみを進めるとして、市の計画に位置づけられ、予算をとまなう事業として一歩踏み出した。

●「ワーク・ライフ・ケア・バランス」という言葉に共感

私は最近「だれもがケアに関係する時代に向かっているいま、仕事・暮らし・ケアの3つのバランスがとれた生き方を可能にする社会が求められている」というワーク・ライフ・ケア・バランスという言葉に共感を覚えている。ケアラー支援法案の前文にも「だれもが被介護者となり、だれもが介護者となり得る時代となっている」とある。まさに「ケアの社会化」が課題だ。

●英国の政党へのケアラー支援のはたらきかけ

私は7月に、市川房枝記念会主催の「議会制民主主義・福祉・女性参政権100年を学ぶ」をテーマにした英国スタディツアーに参加した。福祉分野の視察ではケアラーズUKの訪問も企画されていたが、日程の関係で政策・広報ディレクターのエリザベス・ホルトハウゼンさんのレ

クチャーを受けるにとどまった。印象に残ったのは、無償のケア労働を統計的・経済的面から数値を用いて説明する方法だ。たとえば「英国のケアラーは650万人、8人に1人が家族や友人を無償でケアラーし、毎日新たに6000人がケアラーになっている。無償のケア労働は毎年132兆円、医療サービスのための国の支出は134兆円になる」等々。

選挙時には各政党が発表するマニフェストにケアラー政策が入っているかチェックしているが、すべての政党がケアラー支持の政策を入れているという。その背景にはケアラーの生の声を政策に生かしていくために、毎年、英国で最も大きなケアラー調査のひとつとして、80の質問項目に7000人が回答を寄せる規模の調査を実施。国会とメディアを動かし、ケアラー政策の推進に向けるには、調査、証拠、とくに生の声が重要とのこと。

ヤングケアラーへの言及がなかったので質問したところ、英国では、ヤングケアラーの権利を法律に明確に位置づけた際には、国会にヤングケアラーを連れて行って大臣に直接話を聞いてもらい、政府の考え方を改めさせたとのことだった。

●あらためて感じた「ヤングケアラー支援」の重要性

このやりとりから、認識されにくいヤングケアラーの実態やニーズを明確化し、社会に問題提起する重要性を再認識した。

ケアラーの課題は無限にあるが、若い世代の失われた時間はとり戻せない。若い世代があたりまえに手にしている権利をヤングケアラーに保障されなければならない。ヤングケアラーの社会化こそケアラー連盟がとりくむべき最優先課題ではないか。



ケアを担う子どもの調査報告会が開かれます

ケアラー連盟理事 森田久美子

白梅学園大学ヤングケアラー調査研究プロジェクトが、東京都小平市教育委員会の協力のもとで、ケアを担う子どもについての実態調査を行いました。

その結果をうかがい地域の実情にあった支援を考えます。お誘いあわせのうえご来場ください。

- 日時：2018年10月27日(土) 13:30～16:00
- 場所：白梅学園大学J棟14講義室(東京都小平市小川町1-830)
- プログラム：小平市調査の報告(森山千賀子ほか)
- 定員：50名(申込順)
- 参加費：無料
- 申し込み：下記のURLよりお申し込みいただけます
<https://goo.gl/forms/aoxwk8sni7uxgzow2>
- 問い合わせ先
moriyama@shiraume.ac.jp
042-313-5053(白梅学園大学・森山)
youngcarer@carersjapan.com
(日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクト・野手)

『家族介護者支援マニュアル』が公表されました

2018年3月、厚生労働省は、『市町村・地域包括支援センターによる 家族介護者支援マニュアル～介護者本人の人生の支援～』を公表しました。

このマニュアルには大きな特徴があります。タイトルの副題からも明らかなように、介護者支援の目的を、家族介護者が介護役割を効果的・効率的に果たす

ことではなく、`介護者本人の人生の支援、と明記したことです。



このマニュアルは、各地域包括支援センターに必ず届くことになっています。厚生労働省は、地域包括支援センターが総合相談支援業務を行なうにあたって、「高齢者本人のみならず、介護を行なう家族等に対する支援も重要である」ことを明記し、マニュアルはその具体的な支援方法の参考とすることとしました(2018年7月4日通知)。

マニュアルは、高齢者介護を前提としており、すべてのケアラーを支える地域包括ケアを構築する構えにはなってはいませんが、介護者本人の人生を支える介護者支援策に一步踏み出すツールとして共有できることは間違いありません。

2018年度定時総会を開催しました。

日本ケアラー連盟は、2018年6月17日、中野区の生協連会館において2018年度定時総会を開催しました。今年度は、ヤングケアラー支援と法制化・条例化、政策提言活動を中心にとりくことを全会一致で確認しました。役員体制は従前どおりです。

《日本ケアラー連盟は、いっしょにケアラー支援の活動をする仲間を求めています》

日本ケアラー連盟は、ケアラー、ケアラーを気づかう人、ケアラーのかかえる問題を社会的に解決しようという志をもつ人びとが集い、ともに生きる社会をつくることをめざします。

●会員になるには

一般社団法人日本ケアラー連盟の目的および活動に賛同してくださる方(個人)は、どなたでも申し込みできます(会員は法的には「社員」と呼ばれます)。

《年会費》正会員(社員)：5,000円/年 *総会の議決権があります。
応援会員(個人)：1口 2,000円/年
応援会員(団体)：1口 10,000円/年

《定款》 <http://carersjapan.com/images/teikan.pdf>

《入会申込み》 FAX (またはEメール)でお申し込みください。
<http://carersjapan.com/membership.html>
* FAX 番号、メールアドレスは用紙に記載してあります

●寄附するには

一般社団法人日本ケアラー連盟は、会費と寄附により運営されています。1口3,000円から、何口でもご寄附いただけます。

《寄附申込み》 FAX (またはEメール)でお申し込みください。

<http://carersjapan.com/membership.html>

*FAX番号は用紙に記載してあります

【会費・寄付金入金先】

郵便振替 口座番号：00100-9-789904

加入者名：一般社団法人日本ケアラー連盟

銀行振込 みずほ銀行新宿中央支店 口座番号：2958743
(普通)口座名：一般社団法人日本ケアラー連盟